

## 会議録

会議の名称	西東京市図書館協議会 平成22年度第2回定例会
開催日時	平成22年10月28日（木曜日）午後1時から3時まで
開催場所	田無公民館会議室
出席者	委員：浅野委員、一方井委員、吉田豊委員、服部委員、鈴木委員、小西委員、大澤委員 事務局：奈良館長、西村ひばりが丘図書館地域館長、山川庶務係長
傍聴者	0名
議題	1 諸報告 2 その他
会議資料の名称	1 平成22年9月議会図書館関係質疑要旨 2 西東京市図書館だより 第39号 3 なつかしの田無・保谷講演会・展示会アンケート 4 西東京市の教育 第45号
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
会議内容	
<p>○会長： これから開会いたしますので、よろしく申し上げます。 諸報告（1）9月市議会報告について、館長から申し上げます。</p> <p>○館長： 9月3日から10月5日の会期で第3回市議会定例会が開かれました。 図書館関連の質疑の要旨は以下のとおりです。</p> <p>（一般質問） ・板垣議員（生活者ネットワーク） Q：情報センターとしての図書館について A：図書館は、市民が自ら学び、考えるために必要な知識や情報を、分け隔てなく全ての市民に提供するサービス機関であると考えている。 積極的な情報提供の一環として、レファレンスサービスの強化を目的に、Webレファレンスを開始している。また、西東京市に関する新聞記事を利用者用検索機で公開するサービスなど、様々な形での情報の提供をおこなっている。</p>	

○委員：

利用者が増え、貸出が増え、予約が増えるというのは、図書館の本来の姿を伸ばしていくことになり、レファレンスにも繋がることになると思う。

・新井議員（公明党）

Q：電子書籍化に伴う図書館の対応について

A：急速に電子書籍市場が拡大している状況を受け、政府でも「デジタル・ネットワーク社会における出版物の利活用の推進に関する懇談会」が開かれ、報告書が出された。報告の主旨としては、電子書籍を国民が利用できる環境の整備が急務であること、また、環境を整備するにあたり国会図書館の資料を活用すること、国会図書館の書籍をデジタル化し利用する際は、出版社等への配慮が必要としている。図書館としては、国や他の自治体の動向を見ながら、電子書籍についての対応を研究していく。

○委員：

図書館で電子書籍を提供するパターンがまだできていない。一般の図書館が市民に適正な価格で提供するモデルができていない。

西東京市図書館として、電子化して保存しておかばければいけないものに取り組んだ方が良くと思う。

西東京市図書館が先陣を切って電子化に取り組む必要はないと思う。

（決算特別委員会）

・板垣議員（生活者ネットワーク）

Q：1. 図書館の電算化の今後について 2. 情報流出について 3. 事業評価を実施し図書館の担うべきサービスについて 4. 地元書店への配慮 5. 宅配サービスについて

A：1期に比べ2期のシステムは200万ほど高くなっているが導入の効果は高い。今後も最適化を図っていく。2. 利用者の安全管理や個人情報の適切な運営及び管理に細心の注意を払い、職員・嘱託員への注意喚起を行っている。3. 事業評価や利用者アンケートを実施し、利用者のニーズに答えるようなサービスを実施していく。4. 図書や雑誌は書店会を中心に購入している。5. 宅配サービスの実施に当たっては図書館で宅配ボランティアを育成し、他の部署と連携して進める。

○会長：

教育や福祉は人的サービス業であるから、本来は保育園や学校・図書館は人を増やしていく必要がある。雇用状況が低迷しているから、地方自治体が職員を採用して救済すべきだと思う。

○委員：

4. 地元書店への配慮に関して、書店会から購入した雑誌の装備はどのようにしているのでしょうか。

○館長：

雑誌は装備しないで5パーセント引きで納品し、図書は装備込みで定価で納品という購入方法にしています。

雑誌は自館で装備することになりますが、雑誌は保存期限も長くないので、補強する程度でしています。

また書店会とは年2回程度集まりを設けて近況報告をしています。

・稲垣議員（自民党）

Q：「なつかしの田無・保谷写真展」に関する施設使用料内訳は

A：「きらっと」施設使用料6日分

○会長：

次に、(2) 第2期子ども読書活動推進計画についてお願いします。

○館長：

第2期子ども読書活動推進計画策定懇談会が9月8日に第1回を、10月21日に第2回を開催しました。平成23年3月までに計画策定をする予定です。

策定懇談会と起草委員会があるので、頻繁に会議を開催しています。

委員は、学識経験者、図書館協議会、市民団体代表、市民公募（2名）、職員（保育士、児童館職員、指導主事、司書教諭、図書館専門員、図書館）の13名で構成されています。

○委員：

西東京市では一部の地域の子どもの爆発的に増加しているため、図書室を一般教室へ転用したりする学校もあり、学校運営に問題が生じてきていると聞きました。

○会長：

次に、(3) 平成23年度当初予算編成についてお願いします。

○館長：

現在、平成23年度予算編成をしているところです。新規事業として、東伏見駅周辺には公共施設がないということで、空き店舗を使った地域振興も兼ねて、住民票等交付機の設置、施設予約端末の設置、図書館利用者OPAC端末設置が、平成23年度上半期に開始を予定しています。図書館の場合、予約本を受け取れる窓口を設置したらどうかということで、市の重要行政課題として計画を進めています。

6月議会に「西東京市図書館に関する陳情」が提出されました。ひばりが丘及び柳沢図書館の祝日・夜間開館を中央および保谷駅前図書館と同じにするというものです。そのため、嘱託員増員予算を計上する予定です。

○委員：

夜間開館をして利用者の数はどうですか。他自治体では利用が少ないということも聞きますが。

○館長：

駅に近いということもあって、時間帯とすると利用は多いです。

○会長：

その他についてお願いします。

○館長：

(1) 10月1日付の人事異動について

柳沢図書館の山中主事が、10月1日付けで、社会教育課に異動し、柳沢図書館は欠員となり臨時職員で代替補充しています。

(2) 西東京市誕生10周年事業について

1月から「なつかしの田無・保谷写真パネル図録」は有料頒布します。

3月には展示会と講演会を実施する予定です。

平成23年10月には、田無朗読ボランティアの会と保谷朗読ボランティアの会の皆さんにコール田無で大人のための朗読会を開催していただくため準備を進めています。

○会長：

10年経過して、記念行事の一つとして、図書館の合併の成果をまとめておいた方が良いのではないのでしょうか。

○館長：

(3) 図書館行事について

11月13日（土曜日）午後2時から柳沢公民館視聴覚室 神沢利子講演会

11月20日（土曜日）午後2時から柳沢公民館視聴覚室 川村裕子講演会

(4) 多摩地区公立図書館大会について

平成23年2月に開催されるので、日程が決定したら案内します。

平成23年度の全国図書館大会を多摩地域で開催予定。

(5) 施設見学について

調布市立中央図書館と国領分館

平成22年12月7日（火曜日）午後2時から予定

○会長：

他に何かありますか。

○委員：

団体貸出についてですが、個人で借りた本は市内どこの図書館へ返却してもよいが、団体は借りた場所に返さなければいけないという規則は徹底されているのでしょうか。また予約は団体ですと3ヶ月借りられるので、あえてそれを利用して長く借りようとする人もいるようです。団体貸出のモラルが乱れがちのように思います。

○会長：

団体貸出の説明会または交流会を年1回程度開催したら良いと思います。

それでは他にないようでしたら、時間になりましたのでこれで終了したいと思います。